

社会言語科学会第39回大会報告

阿部 新 (大学院国際日本学研究院准教授)

本学会の大会報告は、2008年10月の第22回大会の報告以来、8年半ぶりとなる。

1. 大会概要

春は3月に首都圏で、秋は9月に首都圏以外で開催されている。

<資料①～②>

第39回は2017年3月18日(土)・19日(日) 三鷹市の杏林大学にて開催。

土曜日：午前中＝口頭発表，昼休み＝JASS カフェ，午後＝大会発表賞授賞式・シンポ

日曜日：午前中＝ポスター発表，午後＝口頭発表

発表分野は多岐にわたる。

<資料③上段>

第38回大会から、「リサーチハック・プログラム」と題したイベントを開催。

- ・土曜日：JASS カフェ＝昼食を食べながら気軽な雰囲気の中で研究者同士が語らうイベント
- ・日曜日：チュートリアル・セッション＝研究を発展させるテーマでチュートリアル

<資料③下段～④>

次回大会(9月16日・17日 関西大学)の発表募集案内。5月9日申し込み締め切り。

9月の大会は、以下のようなプログラムになる(参考：資料④＝前回大会プログラム)

土曜日：午前中＝口頭発表，昼休み＝JASS カフェ，午後＝招待講演・ワークショップ

日曜日：午前中＝口頭発表，午後＝ポスター発表

2. 発表紹介

<資料⑤>

燕興氏・伝康晴氏「ポライトネス理論のD・P変数の感度の日中比較」(ポスター)

<資料⑥>

藏屋伸子氏「岡崎敬語調査に見る談話構成傾向の年齢層間差と経年変化」(口頭発表)

以上